

マスコミで成功する  
**プロフェッショナルライター養成通信講座**  
2009年5月開講

**マスコミ業界激変！  
その他大勢のライターは、淘汰される時代に突入！**

現在、マスコミ業界は大変厳しい経営環境になっています。  
だからこそ、「誰にでもできそうな企画」や「ほかのライターでも書ける原稿」では通用しません。  
より専門性の高い、確かな企画力や取材力、文章力を持つ人材が求められているのです。  
本講座は、大手出版社やメジャー誌で活躍できる一流のライター、プロとして成功するライターの養成を目指す、実践的な内容になっています。そのため、単に文章力の向上を目指される方、アマチュアとしてのご活躍を希望される方には、向きません。  
あくまでもプロとして専門性をアピールできる人材の養成が目的であるため、申し込みには一定の条件を定めており、審査（テスト）もごぞいます。（通過した方だけが受講可能）  
しかし、情熱をもって課題に取り組む覚悟のある方には、プロとしての「狭き門」をくぐれる可能性が待っています。  
自分の将来を決めるのは自分だけです。あなたの実力を、試してみませんか？

◆講座概要

受講期間	6 か月間（スクーリング 2 日間を含む）
開講日	2009 年 5 月 14 日（木）
スクーリング実施日	2009 年 11 月 14 日（土） 2009 年 11 月 15 日（日） 全 2 日間
スクーリング実施場所	東京都内 （青山、表参道近辺を予定）
定員	限定 6 名
講師	作家 石川結貴
受講費合計	<del>378,000 円（税込）</del> → 1 期生のみ 189,000 円（税込）

◆カリキュラム

- ・ プロフェッショナルマインドとは
- ・ プロフェッショナルライターに必要な 5 つの力
- ・ 企画、取材、執筆、プレゼンテーションの実践
- ・ プロとしての生き方、心構え
- ・ スクーリング特別講師（マスコミ業界人、編集担当など）へのプレゼンテーション

## ◆講座の進め方

本講座は、スクーリング 2 日間を含む通信教育型の講座です。

6 か月間の中で、10 種類の課題を実践していきます。

1) 次のサイクルを 8 回繰り返します。

課題提出期間 2 週間 例：2009/5/14（木）～2009/5/27（水） 22：00 締切

添削指導期間 1 週間 例：2009/5/28（木）～2009/6/3（水）

2) スクーリング

2009/11/14（土） 13：00～16：30 講義、石川結貴へのプレゼンテーション、講評

2009/11/15（日） 13：00～17：00 特別講師へのプレゼンテーション、講評、修了式

## ◆講座の特徴

- ・ 受講生全員が、プロを目指しているためモチベーションが持続しやすい。
- ・ メーリングリストに参加することで、ほかの受講生の課題や添削指導を見ることができる。
- ・ 講師が実際に歩んできたプロへの道を、凝縮してお伝えしているためリアリティに富んでいる。

## ◆講師紹介



### 作家 石川結貴（いしかわゆうき）

1961 年、静岡県生まれ。

大学卒業後、医療ソーシャルワーカーとして病院勤務。2 児の母となった 1990 年より家族、教育、子育て、少子化問題などをテーマに独自の取材を始める。

浮き彫りになってきた家庭と社会の問題点にいち早く気づき、収集した「現場発」の声を、様々なメディアで発表してきた。

現代に生きる妻たちの実態を克明にレポートした『ブレイク・ワイフ』（週刊 SPA!連載）が、男女問わず大きな反響を呼んだように、4,000 件以上からなる地道な取材に裏付けされたリアリティあふれる執筆スタイルは高い評価を得ている。

豊富な取材で培った、問題の本質を見極める鋭い視点や、ありのままの現実を客観的に描き出す手法は、ノンフィクションだけでなくフィクションの分野でも存分に活かされている。

『モンスターマザー』（光文社/2007 年）は 2008 年 8 月文庫化され、韓国、台湾での翻訳発売も決定した。また、短編小説集『小さな花が咲いた日』（ポプラ社/2007 年）は、平成 20 年度高校入試問題(国語)として採用されるなど、教育現場からの評価も高い。2009 年には単行本と新書の刊行が予定されている。近年は、行政や教育関係者からの講演依頼も多く、社会全体が家族への問題意識をもっていることが伺える。石川の講演は「すぐに役立つ具体的なアドバイスが豊富」と、参加者から好評。出版、講演以外にも、新聞・雑誌での執筆、メディアへの出演など、家族問題の第一人者として果敢に情報を発信しつづけている。

オフィシャルサイト：<http://ishikawa-yuki.com/>

## ◆石川結貴よりごあいさつ

### プロフェッショナルライターを目指す皆様へ

私がプロのライターとしてスタートしたのは35歳のときです。小学3年生と1年生の子どもがいて、マスコミ業界の右も左もわからない主婦でした。

最初の仕事は『週刊SPA!』という雑誌の連載『ブレイク・ワイフ』(1997年～2000年)。以来、ずっと第一線で書き続け、単行本、新聞、雑誌、テレビ等で幅広く仕事をしてきました。著作は入試問題として採用され、海外で翻訳出版もされています。

この間、多くの女性からこんな質問を受けました。

「文章を書くのが好きなのですが、ライターになれますか?」

私は逆にこう尋ねます。

## 「あなたはどのようなライターになりたいと思っていますか?」

ライターとしての仕事の種類を問わず、マイナーな仕事でもいい、とりあえずライターと名乗ればいいというなら、比較的簡単にライターになれます。これはマスコミ業界に限った話ではなく、たいいていの業種に「誰にでもできる仕事」はあるものです。

フリーランスで仕事をする場合、特別な資格や試験は必要ありませんから、ライターという肩書の名刺を作り、私は今日からライターです、と「自称」することもできます。実際、そういう方はたくさんいます。

一方、大手出版社やメジャー誌で活躍できるライターは少数です。一説によると、ライターと名乗る人は3万人、そのうちプロとしての力量を認められ、いわゆる「売れっ子」と呼ばれる人は300人程度だと言われています。

私が、「どのようなライターを目指すか」を問うのは、3万人の1人になるのか、それとも300人の1人になるのかで、仕事の内容や質、方法が変わってくるからです。

前者は一見楽に感じられますが、そこにはすでに多くの人たちがいて、ありとあらゆる情報を発信しています。仕事の種類は豊富ですが、そのぶん広く浅くで、あまり専門性を高められません。

後者は「狭き門」で厳しく感じられるかもしれませんが、自分の得意分野を生かしたり、自分の名前前で記事を書いていくことができます。

私自身、「狭き門」に入れた自信はまだありませんが、それでもメジャーな場所で多くの経験を積み、本当の意味でプロフェッショナルな人たちと厳しくも楽しく仕事をしています。

単にライターになりたいではなく、どのようなライターを目指すのかをぜひ考えてください。マイナーよりメジャー、誰にでもできる仕事ではなくほかの誰にもできない仕事がしたいと思うのなら、厳しくも楽しく、この講座で「実践的な勉強」をされることをお勧めします。

そして近い将来、私と一緒に仕事をしていただけたらうれしいです。

講師 石川 結貴

## ◆石川結貴の指導のもと、現在マスコミで活躍中のプロライター

- ・ 日本テレビ「ズームイン SUPER」芸能記者 小林弥生 (29歳)
- ・ 光文社『女性自身』編集部勤務 富田夏子 (32歳)
- ・ フリーライター (『AERA』『週刊現代』等で活躍中) 山藤宏子 (45歳)
- ・ ほか多数

## ◆申し込み基準

以下の全ての条件にあてはまる方は、審査（テスト）を受けることが可能です。  
審査に通過した方のみ、受講していただけます。

- ・ スクーリングのために2日間東京都内まで来ることが可能な方
- ・ 専門性の高い企画力や取材力を養い、プロとして成功するライターになりたいと強く思う方（現在、プロか、アマかは、問いません）
- ・ 媒体を問わず、投稿、寄稿、メルマガなど、不特定多数の人の目に触れる場所で文章発表経験がある方

**基準を満たされ、締切までに課題を必ず提出できる方は  
ぜひ、お申し込みください。**

## ◆お申し込み方法

メール本文に、必要事項をご記入のうえ、下記のメールアドレス宛にお送りください。  
なお、ケータイ電話のメールアドレスはご利用いただけません。パソコンから、送信をしてください。

[entry@pro-writer.jp](mailto:entry@pro-writer.jp)

担当 プロフェッショナルライター養成講座事務局 伊藤

### 《必要事項》

氏名、フリガナ、電話番号、郵便番号、住所（教材を郵送しますので正確に記載のこと）  
パソコンのメールアドレス、実績、お申し込みの動機（1000文字以内）

### 《受講までの手順》

1. メールでお申し込みください。
2. 正常に送信されましたら、メールにて、事務局より受付のお知らせをいたします。
3. 1週間以内に、審査内容をお知らせします。（記述によるテストです）
4. 締切日までに、ご提出ください。
5. 受け取り後3日以内に、合格・不合格通知をさしあげます。
6. 合格した方は、7日以内に受講料をお支払いください。（一括前払い、銀行振込のみ。カード不可）
7. 確認できた方から、教材を郵送します。
8. 2009/5/14（木）より、メーリングリストをスタートし、講座を開始します。（受講の方法や、課題の提出方法については、講座内でご案内いたします）

---

主催：株式会社エーアイ・コミュニケーションデザイン

264-0021 千葉市若葉区若松町 545-7-2F

TEL：043-377-7576 お問い合わせ：entry@pro-writer.jp

